新宿建築設計三会・工学院大学 共同主催

新宿建築設計三会：（一社）東京建築士会 新宿支部
（公社）日本建築家協会 新宿地域会
（一社）東京都建築士事務所協会 新宿支部

首都水没に備えた ハザードマップの新たな活用

日時　2021年8月6日（金）17:00 -19:00
会場　オンライン講演会　参加費無料

昨年の7月豪雨、熊本の球磨川洪水の際、高齢者施設千寿園で14人のお年寄りが亡くなった。令和元年台風19号では北陸新幹線の車両基地で新幹線10編成が水没して全ての車両が廃棄された。平成28年年台風10号で岩手県岩泉では小本川が氾濫、介護老人保健施設ふれんどりー岩泉で9人の高齢者が犠牲になっている。
これらの地域のハザードマップを確認してみると、いずれの地域のハザードマップでも事前に危険だと指摘されていた地域に立地していた。ハザードマップを活用し犠牲者をなくすことが出来ないかを検証する。（公益社団法人リバーフロント研究所　土屋信行）

長野市穂保での水害（2019年10月13日）
写真提供：国土交通省

講演者：土屋信行氏 プロフィール

博士（工学）。1975年に東京都庁に入り、道路、橋梁、下水道、まちづくり、河川事業に従事、この間、多摩ニュータウン、つくばエクスプレス六町駅土地区画整理事業などに携わる。2008 年に江戸川区土木部長として海抜セロメートル地帯を洪水から守るため災害対策に関与。東日本大震災の復興では学識経験者委員として宮城県女川町のまちづくりに取り組んだ。現在は、公益財団法人リバーフロント研究所・技術審議役として全国の河川事業、まちづくりに携わっている。著書は『首都水没』『水害列島』（いずれも文春新書）など。

申込方法

Google フォームよりお申し込み下さい。受付後、オンライン会場（zoom ウェビナー）をご連絡します。

Google フォーム

- 申込期限：8月4日（水）
- URL：https://forms.gle/PTsGxeTK9vpiD3Fd7

【問合せ先】
久田嘉章（東京建築士会新宿支部長、工学院大学）
Email: hisada@cc.kogakuin.ac.jp